

目 次

※スポーツ演習については、学生番号の末尾が奇数の学生は前期に、偶数の学生は後期に履修すること。
(再履修の場合、偶数奇数は問わない)

●スポーツ演習	前期	月 3	(ソフトボール・卓球)	-----	1
●スポーツ演習	前期	月 3	(フライングディスク)	-----	2
●スポーツ演習	前期	月 3	(ボールゲームとラケットゲーム)	-----	3
●スポーツ演習	前期	月 4	(ソフトボール・卓球)	-----	4
●スポーツ演習	前期	月 4	(フライングディスク)	-----	5
●スポーツ演習	前期	月 4	(バドミントン)	-----	6
●スポーツ演習	前期	火 3	(ソフトボール・卓球)	-----	7
●スポーツ演習	前期	火 3	(バレーボール・バドミントン)	-----	8
●スポーツ演習	前期	火 3	(フライングディスク)	-----	9
●スポーツ演習	前期	火 4	(バレーボール・バドミントン)	-----	10
●スポーツ演習	前期	火 4	(ソフトボール・バドミントン)	-----	11
●スポーツ演習	前期	火 4	(サッカー)	-----	12
●スポーツ演習	前期	水 1	(ソフトボール・バドミントン)	-----	13
●スポーツ演習	前期	水 1	(フライングディスク)	-----	14
●スポーツ演習	前期	水 1	(トータルフィットネス)	-----	15
●スポーツ演習	前期	水 2	(ソフトボール・バドミントン)	-----	16
●スポーツ演習	前期	水 2	(バドミントン・卓球他)	-----	17
●スポーツ演習	前期	水 2	(バスケットボール・卓球)	-----	18
●スポーツ演習	前期	木 2	(ニュースポーツ)	-----	19
●スポーツ演習	前期	木 2	(球技スポーツ)	-----	20
●スポーツ演習	前期	木 2	(ソフトボール・バドミントン)	-----	21
●スポーツ演習	前期	木 3	(ニュースポーツ)	-----	22
●スポーツ演習	前期	木 3	(球技スポーツ)	-----	23
●スポーツ演習	前期	木 3	(球 技)	-----	24
●スポーツ演習	前期	木 4	(ニュースポーツ)	-----	25
●スポーツ演習	前期	木 4	(球技スポーツ)	-----	26
●スポーツ演習	前期	木 4	(球 技)	-----	27
●スポーツ演習	後期	月 3	(ソフトボール・卓球)	-----	28
●スポーツ演習	後期	月 3	(フライングディスク)	-----	29
●スポーツ演習	後期	月 3	(ボールゲームとラケットゲーム)	-----	30
●スポーツ演習	後期	月 4	(ソフトボール・卓球)	-----	31
●スポーツ演習	後期	月 4	(フライングディスク)	-----	32
●スポーツ演習	後期	月 4	(バドミントン)	-----	33

●スポーツ演習	後期	火3	(ソフトボール・卓球)	-----	34
●スポーツ演習	後期	火3	(バレーボール・バドミントン)	-----	35
●スポーツ演習	後期	火3	(フライングディスク)	-----	36
●スポーツ演習	後期	火4	(バレーボール・バドミントン)	-----	37
●スポーツ演習	後期	火4	(フライングディスク)	-----	38
●スポーツ演習	後期	火4	(サッカー)	-----	39
●スポーツ演習	後期	水1	(ソフトボール・バドミントン)	-----	40
●スポーツ演習	後期	水1	(ウォーキング&ジョギング)	-----	41
●スポーツ演習	後期	水1	(トータルフィットネス)	-----	42
●スポーツ演習	後期	水2	(ソフトボール・バドミントン)	-----	43
●スポーツ演習	後期	水2	(バドミントン・卓球他)	-----	44
●スポーツ演習	後期	水2	(バスケットボール・卓球)	-----	45
●スポーツ演習	後期	木2	(ニュースポーツ)	-----	46
●スポーツ演習	後期	木2	(球技スポーツ)	-----	47
●スポーツ演習	後期	木2	(ソフトボール・バドミントン)	-----	48
●スポーツ演習	後期	木3	(ニュースポーツ)	-----	49
●スポーツ演習	後期	木3	(球技スポーツ)	-----	50
●スポーツ演習	後期	木3	(球 技)	-----	51
●スポーツ演習	後期	木4	(ニュースポーツ)	-----	52
●スポーツ演習	後期	木4	(球技スポーツ)	-----	53
●スポーツ演習	後期	木4	(球 技)	-----	54

2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002003 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・卓球) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E8～10	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法) / 授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「ソフトボール」と「卓球」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、などの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) 打球を返すことができる。ラリーができる。(卓球) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第 1 回 4/12 オリエンテーション (授業の進め方) 第 2 回 4/19 ソフトボールの基礎的技術の習得 (投げる、捕る、打つ) 第 3 回 4/26 ソフトボールのゲーム 第 4 回 5/10 ソフトボールのゲーム 第 5 回 5/17 ソフトボールのゲーム 第 6 回 5/24 ソフトボールのゲーム 第 7 回 6/7 ソフトボールのゲーム 第 8 回 6/14 ソフトボールのゲーム 第 9 回 6/21 卓球の基礎的技術の習得 (打つ、ラリー) 第 10 回 6/28 卓球のゲーム 第 11 回 7/5 卓球のゲーム 第 12 回 7/12 卓球のゲーム 第 13 回 7/26 卓球のゲーム 第 14 回 7/30 卓球のゲーム 第 15 回 8/2 卓球のゲーム 第 16 回 8/9 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 (授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方 (集団での行動や話し合いへの積極的な参加) を評価する。 欠席が 3 回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002002	●スポーツ演習（フライングディスク） Sport and Exercise		
授業科目/(英語名)	講義形態 演習科目	教室	
対象年次 1年	対象学生(クラス等) E8～10		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中垣内 真樹 / gaichi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部棟 4F 中垣内研究室 / 095-819-2089 / 月、火曜日 12:00～12:50、16:00～17:00		科目分類 健・スポ科学科目	
担当教員	中垣内 真樹		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。</p> <p>授業方法(学習指導法): ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。</p> <p>到達目標: フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。			
<p>第1回 4月12日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい)</p> <p>第2回 4月19日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー</p> <p>第3回 4月26日 基本スローの習得 バックハンドスロー</p> <p>第4回 5月10日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム:アキュラシー</p> <p>第5回 5月17日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム:ドッチビー</p> <p>第6回 5月24日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム:ポートボールのルールでのゲーム</p> <p>第7回 6月7日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得</p> <p>第8回 6月14日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得</p> <p>第9回 6月21日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える</p> <p>第10回 6月28日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える</p> <p>第11回 7月5日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦</p> <p>第12回 7月12日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦</p> <p>第13回 7月26日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦</p> <p>第14回 7月30日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ</p> <p>第15回 8月2日 技術テスト 自身の技術の向上を確認</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書:フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能テスト 30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況の評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002001 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ボールゲームとラケットゲーム) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E8~10	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西澤 昭 / nishisho@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部新館 552 / 095-819-2356 / 木曜 12:00~14:30			
担当教員	西澤 昭		
授業のねらい/授業方法(学習指導法) / 授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。運動の身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 授業方法(学習指導法): 授業方法: 本演習ではできるだけ親しみのあるスポーツをとりあげ、手軽に実施できることで生涯にわたって実践できるようになれることを主なねらいとする。 到達目標: 各自の動機と判断により、自分で運動の強度、頻度、内容を理解、自覚し、自分の責任でスポーツに参加できる能力をやしなう。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) これまでに経験し、親しみのあると思われる以下のスポーツを通じて、運動の身体的効果やレクリエーションの考え方、生涯スポーツの実施法などを学習する。基本的にチームに分かれてゲームを中心に実施する。 第1回 4月12日 オリエンテーション(クラス分けなど) 第2回 4月19日 テニスのルールとたのしみ方 第3回 4月26日 テニスのゲーム(1) 第4回 5月10日 テニスのゲーム(2) 第5回 5月17日 テニスのゲーム(3) 第6回 5月24日 テニスのゲーム(4) 第7回 6月7日 バドミントンのたのしみ方 第8回 6月14日 バドミントンのルールとゲーム 第9回 6月21日 バドミントンのゲーム(1) 第10回 6月28日 バドミントンのゲーム(2) 第11回 7月5日 バドミントンのゲーム(3) 第12回 7月12日 卓球のルールとたのしみ方 第13回 7月26日 卓球のゲーム(1) 第14回 7月30日(金:予備日) 卓球のゲーム(2) 第15回 8月2日 卓球のゲーム(3)			
キーワード	生涯スポーツ、ラケットスポーツ		
教科書・教材・参考書	必要に応じハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加の様態とチームに対する貢献度(50%)、技術の上達の程度(10%)、試合に発揮された技能・技術の上達度(40%)などを総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件(履修条件)	特になし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	特に広い意味での生涯学習の領域で役立つように目標は設定されている。自分の意思でこれらのスポーツを実施できる態度を身につけてほしい。		
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002006 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・卓球) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E5～7	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「ソフトボール」と「卓球」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、などの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) 打球を返すことができる。ラリーができる。(卓球) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第 1 回 4/12 オリエンテーション (授業の進め方) 第 2 回 4/19 ソフトボールの基礎的技術の習得 (投げる、捕る、打つ) 第 3 回 4/26 ソフトボールのゲーム 第 4 回 5/10 ソフトボールのゲーム 第 5 回 5/17 ソフトボールのゲーム 第 6 回 5/24 ソフトボールのゲーム 第 7 回 6/7 ソフトボールのゲーム 第 8 回 6/14 ソフトボールのゲーム 第 9 回 6/21 卓球の基礎的技術の習得 (打つ、ラリー) 第 10 回 6/28 卓球のゲーム 第 11 回 7/5 卓球のゲーム 第 12 回 7/12 卓球のゲーム 第 13 回 7/26 卓球のゲーム 第 14 回 7/30 卓球のゲーム 第 15 回 8/2 卓球のゲーム 第 16 回 8/9 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 (授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方 (集団での行動や話し合いへの積極的な参加) を評価する。欠席が 3 回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002005 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(フライングディスク) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E5~7	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中垣内 真樹 / gaichi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部棟 4F 中垣内研究室 / 095-819-2089 / 月、火曜日 12:00~12:50、16:00~17:00			
担当教員	中垣内 真樹		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法):ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。 到達目標:フライングディスクを正確に投げるができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。 第1回 4月12日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい) 第2回 4月19日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー 第3回 4月26日 基本スローの習得 バックハンドスロー 第4回 5月10日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム:アキュラシー 第5回 5月17日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム:ドッチビー 第6回 5月24日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム:ポートボールのルールでのゲーム 第7回 6月7日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第8回 6月14日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第9回 6月21日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第10回 6月28日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第11回 7月5日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第12回 7月12日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第13回 7月26日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第14回 7月30日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ 第15回 8月2日 技術テスト 自身の技術の向上を確認			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書:フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能テスト 30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況の評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002004 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E5~7	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 日高 正博 / mhidaka@nagasaki-u.ac.jp / 教育本館 512室 / 095-819-2326 / 随時(事前に連絡して下さい)			
担当教員	日高 正博		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化, ルール, 技術を習得し, 生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 本演習では, バドミントンを取り上げ, 手軽に運動に親しみ生涯にわたって実践できるようになることをねらいとする。そのために, シャトル操作やフットワークなどの技術をはじめ, ネット型スポーツの戦術及びルールの理解と習得を通して, ゲームを楽しめるようにする。また, 技能差のある相手ともゲームを楽しむためのハンディキャップ制のあり方についても検討していく。 到達目標: 適切なシャトル操作によりラリーを続けることができる。ルールを理解し, 技能差のある相手とも工夫してゲームを楽しむことができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントンの基本技術を習得し, ルールや戦術を理解してゲームで実践する。 ・スキルテスト実施の後, 適切なハンディキャップ制のあり方について検討する ・ハンディキャップ制を取り入れたゲームを実施し, 技能差を克服して誰とでも楽しめる工夫を行う。 第1回 4月12日 オリエンテーション(コース決定, ねらい等の説明) 第2回 4月19日 グルーピング, 授業の進め方, バドミントンの基本技術, ルールについて 第3回 4月26日 バドミントンの基本技術, フットワークについて 第4回 5月10日 スキルテスト, ゲーム1 (ハンディキャップなしでのシングルス①) 第5回 5月17日 ゲーム2 (ハンディキャップなしでのシングルス②) 第6回 5月24日 ゲーム3 (ハンディキャップなしでのシングルス③) 第7回 6月7日 ハンディキャップ制についての検討 (ハンディキャップ制とは? 適切なハンディキャップの程度は?) 第8回 6月14日 ゲーム4 (ハンディキャップ制でのシングルス①) 第9回 6月21日 ゲーム5 (ハンディキャップ制でのシングルス②) 第10回 6月28日 ゲーム6 (ハンディキャップ制でのシングルス③) 第11回 7月5日 ゲーム7 (ダブルス①) 第12回 7月12日 ゲーム8 (ダブルス②) 第13回 7月26日 グループ対抗戦1 第14回 7月30日 グループ対抗戦2 第15回 8月2日 スキルテスト, 総括			
キーワード	生涯スポーツ, ハンディキャップ制		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な態度 50%, 技能の上達 30%, 授業への貢献 20% ただし, 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件(履修条件)	動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。必ず屋内用の体育館シューズを着用のこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002009 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・卓球) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) La~d	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「ソフトボール」と「卓球」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、などの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) 打球を返すことができる。ラリーができる。(卓球) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第 1 回 4/13 オリエンテーション (授業の進め方) 第 2 回 4/20 ソフトボールの基礎的技術の習得 (投げる、捕る、打つ) 第 3 回 4/27 ソフトボールのゲーム 第 4 回 5/11 ソフトボールのゲーム 第 5 回 5/18 ソフトボールのゲーム 第 6 回 5/25 ソフトボールのゲーム 第 7 回 6/1 ソフトボールのゲーム 第 8 回 6/8 ソフトボールのゲーム 第 9 回 6/15 卓球の基礎的技術の習得 (打つ、ラリー) 第 10 回 6/22 卓球のゲーム 第 11 回 6/29 卓球のゲーム 第 12 回 7/6 卓球のゲーム 第 13 回 7/13 卓球のゲーム 第 14 回 7/20 卓球のゲーム 第 15 回 7/27 卓球のゲーム 第 16 回 8/3 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 (授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方 (集団での行動や話し合いへの積極的な参加) を評価する。欠席が 3 回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002008 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (バレーボール・バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) La~d	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 熊野 晃三 / kumano@n-junshin.ac.jp / 総合体育館2階(体育教官室) / 095-846-0084 / 火曜日 12:20~12:50			
担当教員	熊野 晃三		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法、またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。 到達目標: 獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本技術をの習得する。戦術を意識したゲームが実践できるようにする。 リーグ戦の対戦表が作成できるようにする。 第1回 4月13日 オリエンテーション (コース別演習のコース決定など) 第2回 4月20日 演習1 (レクリエーション) レクリエーションワークの解説と実習 第3回 4月27日 演習2 (バレーボール) 技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス 第4回 5月11日 演習3 " アンダーハンドパス、スパイク 第5回 5月18日 演習4 " スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム① 第6回 5月25日 演習5 " 異質グループによるゲーム② 第7回 6月1日 演習6 " 異質グループによるゲーム③ 第8回 6月8日 演習7 " ソフトバレーボール 第9回 6月15日 演習8 (バドミントン) 解説と基本ストローク 第10回 6月22日 演習9 " シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦 第11回 6月29日 演習10 " 等質グループによるリーグ戦① 第12回 7月6日 演習11 " 等質グループによるリーグ戦② 第13回 7月13日 演習12 " 等質グループによるリーグ戦③ 第14回 7月20日 演習13 " ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦① 第15回 7月27日 演習14 " 等質グループによるリーグ戦② 第16回 8月3日 定期試験			
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化		
教科書・教材・参考書	教材 : 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する		
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度: 20% 実技試験: 40% 筆記試験: 40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件(履修条件)	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002007	●スポーツ演習（フライングディスク） Sport and Exercise		
授業科目/(英語名)	講義形態 演習科目	教室	
対象年次 1年	対象学生(クラス等) La～d		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中垣内 真樹 / gaichi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部棟 4F 中垣内研究室 / 095-819-2089 / 月、火曜日 12:00～12:50、16:00～17:00		科目分類 健・スポ科学科目	
担当教員	中垣内 真樹		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。</p> <p>授業方法(学習指導法): ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。</p> <p>到達目標: フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。			
<p>第1回 4月13日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい)</p> <p>第2回 4月20日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー</p> <p>第3回 4月27日 基本スローの習得 バックハンドスロー</p> <p>第4回 5月11日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム:アキュラシー</p> <p>第5回 5月18日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム:ドッチビー</p> <p>第6回 5月25日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム:ポートボールのルールでのゲーム</p> <p>第7回 6月1日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得</p> <p>第8回 6月8日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得</p> <p>第9回 6月15日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える</p> <p>第10回 6月22日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える</p> <p>第11回 6月29日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦</p> <p>第12回 7月6日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦</p> <p>第13回 7月13日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦</p> <p>第14回 7月20日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ</p> <p>第15回 7月27日 技術テスト 自身の技術の向上を確認</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書:フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能テスト 30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況の評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002012	●スポーツ演習 (バレーボール・バドミントン)		
授業科目/(英語名)	Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) Le・f、P18・19	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 熊野 晃三 / kumano@n-junshin.ac.jp / 総合体育館2階(体育教官室) / 095-846-0084 / 火曜日 12:20~12:50			
担当教員	熊野 晃三		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法、またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。 到達目標: 獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本技術をの習得する。戦術を意識したゲームが実践できるようにする。 リーグ戦の対戦表が作成できるようにする。 第1回 4月13日 オリエンテーション (コース別演習のコース決定など) 第2回 4月20日 演習1 (レクリエーション) レクリエーションワークの解説と実習 第3回 4月27日 演習2 (バレーボール) 技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス 第4回 5月11日 演習3 " アンダーハンドパス、スパイク 第5回 5月18日 演習4 " スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム① 第6回 5月25日 演習5 " 異質グループによるゲーム② 第7回 6月1日 演習6 " 異質グループによるゲーム③ 第8回 6月8日 演習7 " ソフトバレーボール 第9回 6月15日 演習8 (バドミントン) 解説と基本ストローク 第10回 6月22日 演習9 " シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦 第11回 6月29日 演習10 " 等質グループによるリーグ戦① 第12回 7月6日 演習11 " 等質グループによるリーグ戦② 第13回 7月13日 演習12 " 等質グループによるリーグ戦③ 第14回 7月20日 演習13 " ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦① 第15回 7月27日 演習14 " 等質グループによるリーグ戦② 第16回 8月3日 定期試験			
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化		
教科書・教材・参考書	教材 : 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する		
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度: 20% 技試験: 40% 筆記試験: 40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件(履修条件)	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002011 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) Le~f・P18~19	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 吉田 大輔 / m087007@sky.nifs-k.ac.jp / 総合体育館 2F (体育教官室) / 毎週水曜日 12:00~13:00			
担当教員	吉田 大輔		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): この授業では、ソフトボールとバドミントンの実践を通じて基礎体力を養い、各種目の基本技術・戦術を身につける。主にゲーム形式で授業を展開し、チームプレーとしての技術・戦術も習得する。 到達目標: 体力づくりの重要性を理解し、自主的かつ積極的な態度でスポーツに取り組むことができる。 スポーツ・パフォーマンスの向上やスポーツ外傷・障害の予防に必要な基礎知識・具体的方法について説明できる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボールとバドミントンを実施する。			
第1回 4月13日 オリエンテーション 第2回 4月20日 ソフトボール ソフトボールの基本ルール・技術を学ぶ(キャッチボールから打球の処理まで) 第3回 4月27日 ソフトボール バッティングと連係守備① 第4回 5月11日 ソフトボール バッティングと連係守備② 第5回 5月18日 ソフトボール ゲーム① 第6回 5月25日 ソフトボール ゲーム② 第7回 6月1日 ソフトボール ゲーム③ 第8回 6月8日 ソフトボール まとめ(実技試験含む) 第9回 6月15日 バドミントン バドミントンの基本ルール・技術を学ぶ(オーバーヘッド、フォアハンド、バックハンドでのストローク) 第10回 6月22日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する①(クリア、ドライブ) 第11回 6月29日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する②(スマッシュ、ドロップ、カット) 第12回 7月6日 バドミントン サービスの基本技術を習得する 第13回 7月13日 バドミントン ゲーム(ダブルス)① 第14回 7月20日 バドミントン ゲーム(ダブルス)② 第15回 7月27日 バドミントン まとめ(実技試験含む)			
天候などの理由により、予定を変更することがある。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 個人技能テスト 30% 集団技能テスト 20% (ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002010	●スポーツ演習 (サッカー) Sport and Exercise		
授業科目/(英語名)	講義形態 演習科目	教室	
対象年次 1年	対象学生(クラス等) Le~f・P18~19		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 畑 孝幸 / 教育学部110研究室 / 095-819-2358 / 随時(予約による)		科目分類 健・スポ科学科目	
担当教員	畑 孝幸		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。このクラスではサッカーを通して身体運動に関する自立的な能力を開発することを目的とする。</p> <p>授業方法(学習指導法): このクラスでは、サッカーの知識・理論を学習し、技術・戦術を実践的に習得するが、そのための思考力と方法的能力を養成する。授業は男女共習のグループ学習の形態で行い、グループごとに学習内容を「計画」し「実践」する。その後「ふりかえり」を行い、グループ内での課題の発見とその解決について検討する。</p> <p>到達目標: 自己の課題を発見し練習計画表を作成することができる。サッカーのルールや戦術を理解し、チームや個々の技能の特性を活かして上手にゲームができる戦術を考えることができる。チームメイトと討論し、自らの課題を発見し、計画表を作成し、ゲームを実践することができる。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>毎時間グループごとに学習内容を計画しながら実践する。計画した内容をゲーム等で実践することによって、サッカーの基礎的技術を習得し、ルールや戦術の理解を深める。受講者にはグループや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる。授業ごとに毎回作成される計画表は、授業後に提出し、評価を受けたあと、次回の立案者に渡される。定期試験は16回目(8月3日)に行う予定である。</p>			
<p>第1回 4月13日: オリエンテーション、軽度の運動 第2回 4月20日: グループニング、授業展開方法の説明 第3回 4月27日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第4回 5月11日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第5回 5月18日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第6回 5月25日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第7回 6月1日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第8回 6月8日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第9回 6月15日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第10回 6月22日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第11回 6月29日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第12回 7月6日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第13回 7月13日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第14回 7月20日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第15回 7月27日: グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第16回 8月3日: 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度10%、計画表25%、個人技能10%、集団技能(練習やゲームの内容をチーム毎に評価する)25%、筆記試験30%の割合で総合的に評価し、60%以上の評点を合格とする。		
受講要件(履修条件)	基本的に全回出席しなければ単位は成立しない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002015 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) D16~17・F27~28	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 吉田 大輔 / m087007@sky.nifs-k.ac.jp / 総合体育館 2F (体育教官室) / 毎週水曜日 12:00~13:00			
担当教員	吉田 大輔		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): この授業では、ソフトボールとバドミントンの実践を通じて基礎体力を養い、各種目の基本技術・戦術を身につける。主にゲーム形式で授業を展開し、チームプレーとしての技術・戦術も習得する。 到達目標: 体力づくりの重要性を理解し、自主的かつ積極的な態度でスポーツに取り組むことができる。 スポーツ・パフォーマンスの向上やスポーツ外傷・障害の予防に必要な基礎知識・具体的方法について説明できる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボールとバドミントンを実施する。			
第1回 4月14日 オリエンテーション 第2回 4月21日 ソフトボール ソフトボールの基本ルール・技術を学ぶ(キャッチボールから打球の処理まで) 第3回 4月28日 ソフトボール バッティングと連係守備① 第4回 5月12日 ソフトボール バッティングと連係守備② 第5回 5月19日 ソフトボール ゲーム① 第6回 5月26日 ソフトボール ゲーム② 第7回 6月2日 ソフトボール ゲーム③ 第8回 6月9日 ソフトボール まとめ(実技試験含む) 第9回 6月16日 バドミントン バドミントンの基本ルール・技術を学ぶ(オーバーヘッド、フォアハンド、バックハンドでのストローク) 第10回 6月23日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する①(クリア、ドライブ) 第11回 6月30日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する②(スマッシュ、ドロップ、カット) 第12回 7月7日 バドミントン サービスの基本技術を習得する 第13回 7月14日 バドミントン ゲーム(ダブルス)① 第14回 7月21日 バドミントン ゲーム(ダブルス)② 第15回 7月28日 バドミントン まとめ(実技試験含む)			
天候などの理由により、予定を変更することがある。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 個人技能テスト 30% 集団技能テスト 20% (ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002014 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(フライングディスク) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) D16~17・F27~28	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中垣内 真樹 / gaichi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部棟 4F 中垣内研究室 / 095-819-2089 / 月、火曜日 12:00~12:50、16:00~17:00			
担当教員	中垣内 真樹		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法):ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。 到達目標:フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。 第1回 4月14日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい) 第2回 4月21日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー 第3回 4月28日 基本スローの習得 バックハンドスロー 第4回 5月12日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム:アキュラシー 第5回 5月19日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム:ドッチビー 第6回 5月26日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム:ポートボールのルールでのゲーム 第7回 6月2日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第8回 6月9日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第9回 6月16日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第10回 6月23日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第11回 6月30日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第12回 7月7日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第13回 7月14日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第14回 7月21日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ 第15回 7月28日 技術テスト 自身の技術の向上を確認			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書:フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能テスト 30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況の評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002013 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (トータルフィットネス) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) D16~17・F27~28	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 管原 正志 / sugahara@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部 108 研究室 / 095-819-2355 / 12:00-12:50			
担当教員	管原 正志		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): トータルスポーツは、陸上運動、ニュースポーツ、ボール運動、ラケットスポーツ等の異なるタイプの運動を通して自己の健康づくりの実施方法を習得する。具体的には健康と身体運動の関係を理解した上で、健康運動の実践方法(有酸素運動・筋力トレーニング・ストレッチなど)について実習し、効果的な運動の実践方法を習得する。 到達目標: 身体運動が生活習慣病予防をはじめとして健康の保持増進に役立つことを理解するだけでなく、運動の実践を通じて自己管理能力を身につける。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要): 授業では、スポーツ演習、健康の概念、有酸素運動の理論、運動処方、熱中症の予防、運動量の計測演習について行う。 第1回 4月14日:オリエンテーション(種目決定など) 第2回 4月21日:演習「カロリーカウンターの使用説明、バドミントン」 第3回 4月28日:演習「バドミントン」 第4回 5月12日:演習「バドミントン」 第5回 5月19日:演習「バドミントン」 第6回 5月26日:演習「硬式テニス」 第7回 6月2日:演習「硬式テニス」 第8回 6月9日:演習「グランドゴルフ」 第9回 6月16日:演習「バードゴルフ」 第10回 6月23日:演習「卓球」 第11回 6月30日:演習「卓球」 第12回 7月7日:演習「卓球」 第13回 7月14日:演習「学内または学外のウォーキング・ジョギングコースを設定使用」 第14回 7月21日:講義「有酸素運動の理解、運動処方」 第15回 7月28日:講義「スポーツ活動時の熱中症予防」、「総合評価」			
キーワード			
教科書・教材・参考書	必要に応じて、関係する資料を配付する。また、器具等は時間毎に貸与する。		
成績評価の方法・基準等	授業レポートによる理解度(20%)、授業への参加状況(40%)、課題レポート(40%)を総合的に評価する。但し、全期間の欠席が3回以上の場合には失格となる。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002018 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M11~12・Ta~b	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 吉田 大輔 / m087007@sky.nifs-k.ac.jp / 総合体育館 2F (体育教官室) / 毎週水曜日 12:00~13:00			
担当教員	吉田 大輔		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): この授業では、ソフトボールとバドミントンの実践を通じて基礎体力を養い、各種目の基本技術・戦術を身につける。主にゲーム形式で授業を展開し、チームプレーとしての技術・戦術も習得する。 到達目標: 体力づくりの重要性を理解し、自主的かつ積極的な態度でスポーツに取り組むことができる。 スポーツ・パフォーマンスの向上やスポーツ外傷・障害の予防に必要な基礎知識・具体的方法について説明できる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボールとバドミントンを実施する。			
第1回 4月14日 オリエンテーション 第2回 4月21日 ソフトボール ソフトボールの基本ルール・技術を学ぶ(キャッチボールから打球の処理まで) 第3回 4月28日 ソフトボール バッティングと連係守備① 第4回 5月12日 ソフトボール バッティングと連係守備② 第5回 5月19日 ソフトボール ゲーム① 第6回 5月26日 ソフトボール ゲーム② 第7回 6月2日 ソフトボール ゲーム③ 第8回 6月9日 ソフトボール まとめ(実技試験含む) 第9回 6月16日 バドミントン バドミントンの基本ルール・技術を学ぶ(オーバーヘッド、フォアハンド、バックハンドでのストローク) 第10回 6月23日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する①(クリア、ドライブ) 第11回 6月30日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する②(スマッシュ、ドロップ、カット) 第12回 7月7日 バドミントン サービスの基本技術を習得する 第13回 7月14日 バドミントン ゲーム(ダブルス)① 第14回 7月21日 バドミントン ゲーム(ダブルス)② 第15回 7月28日 バドミントン まとめ(実技試験含む)			
天候などの理由により、予定を変更することがある。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 個人技能テスト 30% 集団技能テスト 20% (ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002017 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (バドミントン・卓球他) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M11-12・Ta-b	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山内 正毅 / yamauchi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部本館1階 109 / 095-819-2356 / 木曜2校時			
担当教員	山内 正毅		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): さまざまなスポーツ、ジョギングやダンスによる有酸素運動、リラクゼーションにかかわる運動を教材として運動・スポーツ及びからだや健康に関する教養教育を行う。 到達目標: ・教材として取り上げた運動・スポーツの技能や自立的な実践方法を獲得する。・運動・スポーツと健康との関わりを理解し、運動量と主観的運動強度、心拍数(HR)、エネルギー消費量等の関係を自覚する。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 現代社会における心身のコンディショニングの重要性やメカニズムを理解し、それらに対する運動、スポーツの関わり方、実践方法などをバドミントン、卓球、ジョギング等の教材を用いて演習する。			
第1回 4/14 オリエンテーション 第2回 4/21 心身のコンディショニングに関する概観(演習形式で実技と講義)。生活と運動・スポーツ、心身の機序と運動、基本的運動実践の方法 第3回 4/28 体づくりの方法とリラクゼーション1(演習)(屋内) 第4回 5/12 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミンントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第5回 5/19 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミンントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第6回 5/26 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミンントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第7回 6/2 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミンントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第8回 6/9 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミンントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第9回 6/16 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第10回 6/23 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第11回 6/30 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第12回 7/7 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第13回 7/14 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第14回 7/21 運動強度と生理的反応の測定 運動負荷を変化させ(速歩、ジョギング、軽ランニング)その時のHR、消費カロリー、主観的運動強度等を測定し、自己の運動とからだの関係を知る。 第15回 7/28 授業のまとめ(総括試合)、レポート(講義) 測定した自分のデータをもとに、各自の身体能力を知るとともに運動強度とからだの関係について考える。 以上のスポーツ種目、実施の順序、場所は、天候や施設の都合で変更することもある。			
キーワード	バドミントン、卓球、主観的運動強度、QOL		
教科書・教材・参考書	必要な資料はプリントして配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と取り組みの意欲(50%)、技術の上達(10%)、理解度(最後にレポートの提出、40%)など総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が2回を越える場合には原則として失格となる。		
受講要件(履修条件)	服装等、ルールに従い、クラスの成員と協力しあうこと。体調を自己管理し、欠席しなくっていいようにすることも本授業の内容にかかわってくるのでこの点も注意すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	全学教育学生便覧参照		
備考(準備学習等)	運動用服装、体育館シューズの使用を厳守すること。ジーパン等の普段着の服装は認めないので必ず着替えること。		

2010年度 前期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002016 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (バスケットボール・卓球) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M11・12, Ta・b	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小原 達朗 / labo@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部 252 室 / 095-819-2294 / 水曜日 17:00~17:45			
担当教員	小原 達朗		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、技術を習得し、生涯にわたって身体運動に親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 本授業では、スポーツの実践とスポーツを行う身体についてレクチャーと演習をとおして理解することをねらいとしている。したがって、毎回の授業は前段の演習と後段のスポーツの実践によって進める。 到達目標: 演習で取り上げた課題を理解し、実践できること及びバスケットと卓球のスポーツ実践が受講者間で支障なくできること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 4月14日 オリエンテーション (授業の進め方、ねらい等) 第2回 4月21日 ストレッチ + バスケット (プレマッチ) 第3回 4月28日 ボディエクササイズ + バスケット (リーグ1) 第4回 5月12日 ウェイトコントロール+ バスケット (リーグ2) 第5回 5月19日 ダイエットと運動 + バスケット (リーグ3) 第6回 5月26日 エアロビクス + バスケット (リーグ4) 第7回 6月2日 バスケット (リーグ5) 第8回 6月9日 ウェイトとラーニング+ 卓球 (プレマッチ) 第9回 6月16日 リラクセーション + 卓球 (リーグ1) 第10回 6月23日 ウォーキング + 卓球 (リーグ2) 第11回 6月30日 ジョギング + 卓球 (リーグ3) 第12回 7月7日 ストレスと運動 + 卓球 (リーグ4) 第13回 7月14日 健康と体力 + 卓球 (リーグ5) 第14回 7月21日 卓球 (ダブルス) 第15回 7月28日 卓球 (ダブルス)			
キーワード	体力増進、健康維持、知識理解、実践方法		
教科書・教材・参考書	教科書不要、必要に応じて資料配布		
成績評価の方法・基準等	1. 授業に対する積極的な参加度 (配点 60%) 2. スポーツ及び演習の実践が到達目標に達している こと (配点 20%) 3. 平常の評価 (配点 20%)		
受講要件(履修条件)	特になし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	健全な社会人育成 健全な社会人育成		
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002021 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ニュースポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M13・K25～26	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊 勝平 / chosho-wata@hotmail.co.jp / 総合体育館体育教官室 / 木曜日 12:00～12:50			
担当教員	渡邊 勝平		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。 到達目標: スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) これまでの学校教育ではほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。			
第1回 4月15日 オリエンテーション…授業概要説明 第2回 4月22日 アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム 第3回 5月6日 アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム 第4回 5月13日 アルティメット…ゲーム 第5回 5月20日 アルティメット…ゲーム 第6回 5月27日 グラウンドゴルフ…ゲーム 第7回 6月3日 フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム 第8回 6月10日 ラージボール卓球…ゲーム 第9回 6月17日 インディアカ…チーム分け、ゲーム 第10回 6月24日 インディアカ…ゲーム 第11回 7月1日 インディアカ…ゲーム 第12回 7月8日 ソフトバレー…ゲーム 第13回 7月15日 ソフトバレー…ゲーム 第14回 7月22日 ミニテニス…ゲーム 第15回 7月29日 ニュースポーツの考案 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 (80%) 筆記試験 (20%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002020 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (球技スポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M13・K25～26	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤木 賢二 / ken.fujiki@nifty.com / 総合体育館 2F (体育教官室) / 木曜日 12:00～12:45、16:00～16:30			
担当教員	藤木 賢二		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルールを理解し、技術を習得することで、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。 到達目標: ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。			
第1回 4月15日 オリエンテーション(種目の決定、授業の概要説明など) 第2回 4月22日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習 第3回 5月6日 ソフトボール ゲーム 第4回 5月13日 ソフトボール ゲーム 第5回 5月20日 ソフトボール ゲーム 第6回 5月27日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク(フォアハンド、バックハンド) 第7回 6月3日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ 第8回 6月10日 テニス ゲーム(ダブルス) 第9回 6月17日 テニス ゲーム(ダブルス、シングルス) 第10回 6月24日 テニス ゲーム(シングルス) 第11回 7月1日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム 第12回 7月8日 サッカー ゲーム 第13回 7月15日 サッカー ゲーム 第14回 7月22日 サッカー ゲーム 第15回 7月29日 サッカー ゲーム 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40% チームへの貢献 10% 技術上達 10% 試験(運動効果の理解30%、ルール等の理解10%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002019 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M1 3・K2 5～2 6	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 吉田 大輔 / m087007@sky.nifs-k.ac.jp / 総合体育館 2F (体育教官室) / 毎週水曜日 12:00～13:00			
担当教員	吉田 大輔		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): この授業では、ソフトボールとバドミントンの実践を通じて基礎体力を養い、各種目の基本技術・戦術を身につける。主にゲーム形式で授業を展開し、チームプレーとしての技術・戦術も習得する。 到達目標: 体力づくりの重要性を理解し、自主的かつ積極的な態度でスポーツに取り組むことができる。 スポーツ・パフォーマンスの向上やスポーツ外傷・障害の予防に必要な基礎知識・具体的方法について説明できる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボールとバドミントンを実施する。			
第1回 4月15日 オリエンテーション 第2回 4月22日 ソフトボール ソフトボールの基本ルール・技術を学ぶ(キャッチボールから打球の処理まで) 第3回 5月6日 ソフトボール バッティングと連係守備① 第4回 5月13日 ソフトボール バッティングと連係守備② 第5回 5月20日 ソフトボール ゲーム① 第6回 5月27日 ソフトボール ゲーム② 第7回 6月3日 ソフトボール ゲーム③ 第8回 6月10日 ソフトボール まとめ(実技試験含む) 第9回 6月17日 バドミントン バドミントンの基本ルール・技術を学ぶ(オーバーヘッド、フォアハンド、バックハンドでのストローク) 第10回 6月24日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する①(クリア、ドライブ) 第11回 7月1日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する②(スマッシュ、ドロップ、カット) 第12回 7月8日 バドミントン サービスの基本技術を習得する 第13回 7月15日 バドミントン ゲーム(ダブルス)① 第14回 7月22日 バドミントン ゲーム(ダブルス)② 第15回 7月29日 バドミントン まとめ(実技試験含む)			
天候などの理由により、予定を変更することがある。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 個人技能テスト 30% 集団技能テスト 20% (ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002024 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ニュースポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M14・Te～f	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊 勝平 / chosho-wata@hotmail.co.jp / 総合体育館体育教官室 / 木曜日 12:00～12:50			
担当教員	渡邊 勝平		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。 到達目標: スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) これまでの学校教育ではほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。			
第1回 4月15日 オリエンテーション…授業概要説明 第2回 4月22日 アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム 第3回 5月6日 アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム 第4回 5月13日 アルティメット…ゲーム 第5回 5月20日 アルティメット…ゲーム 第6回 5月27日 グラウンドゴルフ…ゲーム 第7回 6月3日 フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム 第8回 6月10日 ラージボール卓球…ゲーム 第9回 6月17日 インディアカ…チーム分け、ゲーム 第10回 6月24日 インディアカ…ゲーム 第11回 7月1日 インディアカ…ゲーム 第12回 7月8日 ソフトバレー…ゲーム 第13回 7月15日 ソフトバレー…ゲーム 第14回 7月22日 ミニテニス…ゲーム 第15回 7月29日 ニュースポーツの考案 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 (80%) 筆記試験 (20%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002023 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (球技スポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M14・Tc～f	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤木 賢二 / ken.fujiki@nifty.com / 総合体育館 2F (体育教官室) / 木曜日 12:00～12:45、16:00～16:30			
担当教員	藤木 賢二		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルールを理解し、技術を習得することで、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。 到達目標: ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。			
第1回 4月15日 オリエンテーション(種目の決定、授業の概要説明など) 第2回 4月22日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習 第3回 5月6日 ソフトボール ゲーム 第4回 5月13日 ソフトボール ゲーム 第5回 5月20日 ソフトボール ゲーム 第6回 5月27日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク(フォアハンド、バックハンド) 第7回 6月3日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ 第8回 6月10日 テニス ゲーム(ダブルス) 第9回 6月17日 テニス ゲーム(ダブルス、シングルス) 第10回 6月24日 テニス ゲーム(シングルス) 第11回 7月1日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム 第12回 7月8日 サッカー ゲーム 第13回 7月15日 サッカー ゲーム 第14回 7月22日 サッカー ゲーム 第15回 7月29日 サッカー ゲーム 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40% チームへの貢献 10% 技術上達 10% 試験(運動効果の理解30%、ルール等の理解10%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002022 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(球技) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M14・Tc～f	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「バスケットボール」と「バドミントン」と「ソフトボール」の三つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: パスを正確にできる。シュートを正確にできる。ドリブルすることができる。(バスケットボール) シャトルを相手に返せる。ラリーができる。(バドミントン) ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 4/15 オリエンテーション(授業の進め方) 第2回 4/22 バスケットボールの基礎的技術の習得 第3回 5/6 バスケットボールのゲーム 第4回 5/13 バスケットボールのゲーム 第5回 5/20 バスケットボールのゲーム 第6回 5/27 バドミンントンの基礎的技術の習得 第7回 6/3 バドミンントンのゲーム 第8回 6/10 バドミンントンのゲーム 第9回 6/17 バドミンントンのゲーム 第10回 6/24 ソフトボールの基礎的技術の習得 第11回 7/1 ソフトボールのゲーム 第12回 7/8 ソフトボールのゲーム 第13回 7/15 ソフトボールのゲーム 第14回 7/22 ソフトボールのゲーム 第15回 7/29 ソフトボールのゲーム 第16回 8/5 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方(授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方(集団での行動や話し合いへの積極的な参加)を評価する。 欠席が3回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002027 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ニュースポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M15・Tg～j	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊 勝平 / chosho-wata@hotmail.co.jp / 総合体育館体育教官室 / 木曜日 12:00～12:50			
担当教員	渡邊 勝平		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。 到達目標: スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) これまでの学校教育ではほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。			
第1回 4月15日 オリエンテーション…授業概要説明 第2回 4月22日 アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム 第3回 5月6日 アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム 第4回 5月13日 アルティメット…ゲーム 第5回 5月20日 アルティメット…ゲーム 第6回 5月27日 グラウンドゴルフ…ゲーム 第7回 6月3日 フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム 第8回 6月10日 ラージボール卓球…ゲーム 第9回 6月17日 インディアカ…チーム分け、ゲーム 第10回 6月24日 インディアカ…ゲーム 第11回 7月1日 インディアカ…ゲーム 第12回 7月8日 ソフトバレー…ゲーム 第13回 7月15日 ソフトバレー…ゲーム 第14回 7月22日 ミニテニス…ゲーム 第15回 7月29日 ニュースポーツの考案 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 (80%) 筆記試験 (20%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002026 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (球技スポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M15・Tg～j	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤木 賢二 / ken.fujiki@nifty.com / 総合体育館 2F (体育教官室) / / 木曜日 12:00～12:45、16:00～16:30			
担当教員	藤木 賢二		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルールを理解し、技術を習得することで、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。 到達目標: ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。			
第1回 4月15日 オリエンテーション (種目の決定、授業の概要説明など) 第2回 4月22日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習 第3回 5月6日 ソフトボール ゲーム 第4回 5月13日 ソフトボール ゲーム 第5回 5月20日 ソフトボール ゲーム 第6回 5月27日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク (フォアハンド、バックハンド) 第7回 6月3日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ 第8回 6月10日 テニス ゲーム (ダブルス) 第9回 6月17日 テニス ゲーム (ダブルス、シングルス) 第10回 6月24日 テニス ゲーム (シングルス) 第11回 7月1日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム 第12回 7月8日 サッカー ゲーム 第13回 7月15日 サッカー ゲーム 第14回 7月22日 サッカー ゲーム 第15回 7月29日 サッカー ゲーム 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40% チームへの貢献 10% 技術上達 10% 試験 (運動効果の理解 30%、ルール等の理解 10%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002025 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(球 技) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M15・Tg～j	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「バスケットボール」と「バドミントン」と「ソフトボール」の三つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: パスを正確にできる。シュートを正確にできる。ドリブルすることができる。(バスケットボール) シャトルを相手に返せる。ラリーができる。(バドミントン) ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第 1 回 4/15 オリエンテーション(授業の進め方) 第 2 回 4/22 バスケットボールの基礎的技術の習得 第 3 回 5/6 バスケットボールのゲーム 第 4 回 5/13 バスケットボールのゲーム 第 5 回 5/20 バスケットボールのゲーム 第 6 回 5/27 バドミンントンの基礎的技術の習得 第 7 回 6/3 バドミンントンのゲーム 第 8 回 6/10 バドミンントンのゲーム 第 9 回 6/17 バドミンントンのゲーム 第 10 回 6/24 ソフトボールの基礎的技術の習得 第 11 回 7/1 ソフトボールのゲーム 第 12 回 7/8 ソフトボールのゲーム 第 13 回 7/15 ソフトボールのゲーム 第 14 回 7/22 ソフトボールのゲーム 第 15 回 7/29 ソフトボールのゲーム 第 16 回 8/5 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方(授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方(集団での行動や話し合いへの積極的な参加)を評価する。 欠席が3回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002030 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・卓球) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E8～10	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「ソフトボール」と「卓球」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、などの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) 打球を返すことができる。ラリーができる。(卓球) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第 1 回 10/4 オリエンテーション (授業の進め方) 第 2 回 10/18 ソフトボールの基礎的技術の習得 (投げる、捕る、打つ) 第 3 回 10/25 ソフトボールのゲーム 第 4 回 11/1 ソフトボールのゲーム 第 5 回 11/8 ソフトボールのゲーム 第 6 回 11/15 ソフトボールのゲーム 第 7 回 11/22 ソフトボールのゲーム 第 8 回 11/29 ソフトボールのゲーム 第 9 回 12/6 卓球の基礎的技術の習得 (打つ、ラリー) 第 10 回 12/13 卓球のゲーム 第 11 回 12/20 卓球のゲーム 第 12 回 1/17 卓球のゲーム 第 13 回 1/24 卓球のゲーム 第 14 回 1/31 卓球のゲーム 第 15 回 2/7 卓球のゲーム 第 16 回 8/5 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 (授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方 (集団での行動や話し合いへの積極的な参加) を評価する。 欠席が 3 回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002029 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(フライングディスク) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E8~10	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中垣内 真樹 / gaichi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部棟 4F 中垣内研究室 / 095-819-2089 / 月、火曜日 12:00~12:50、16:00~17:00			
担当教員	中垣内 真樹		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法):ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。 到達目標:フライングディスクを正確に投げるができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。 第1回 10月4日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい) 第2回 10月18日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー 第3回 10月25日 基本スローの習得 バックハンドスロー 第4回 11月1日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム:アキュラシー 第5回 11月8日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム:ドッチビー 第6回 11月15日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム:ポートボールのルールでのゲーム 第7回 11月22日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第8回 11月29日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第9回 12月6日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第10回 12月13日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第11回 12月20日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第12回 1月17日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第13回 1月24日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第14回 1月31日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ 第15回 2月7日 技術テスト 自身の技術の向上を確認			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書:フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能テスト 30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況の評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002028 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ボールゲームとラケットゲーム) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E8~10	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西澤 昭 / nishisho@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部新館 552 / 095-819-2356 / 木曜 12:00~14:30			
担当教員	西澤 昭		
授業のねらい/授業方法(学習指導法) / 授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。運動の身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 授業方法(学習指導法): 授業方法: 本演習ではできるだけ親しみのあるスポーツをとりあげ、手軽に実施できることで生涯にわたって実践できるようになれることを主なねらいとする。 到達目標: 各自の動機と判断により、自分で運動の強度、頻度、内容を理解、自覚し、自分の責任でスポーツに参加できる能力をやしなう。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) これまでに経験し、親しみのあると思われる以下のスポーツを通じて、運動の身体的効果やレクリエーションの考え方、生涯スポーツの実施法などを学習する。基本的にチームに分かれてゲームを中心に実施する。 第1回 10月4日 オリエンテーション(クラス分けなど) 第2回 10月18日 テニスのルールとたのしみ方 第3回 10月25日 テニスのゲーム(1) 第4回 11月1日 テニスのゲーム(2) 第5回 11月8日 テニスのゲーム(3) 第6回 11月15日 テニスのゲーム(4) 第7回 11月22日 バドミントンのたのしみ方 第8回 11月29日 バドミントンのルールとゲーム 第9回 12月6日 バドミントンのゲーム(1) 第10回 12月13日 バドミントンのゲーム(2) 第11回 12月20日 バドミントンのゲーム(3) 第12回 1月17日 卓球のルールとたのしみ方 第13回 1月24日 卓球のゲーム(1) 第14回 1月31日 卓球のゲーム(2) 第15回 2月7日 卓球のゲーム(3)			
キーワード	生涯スポーツ、ラケットスポーツ		
教科書・教材・参考書	必要に応じハンドアウトを配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加の様態とチームに対する貢献度(50%)、技術の上達の程度(10%)、試合に発揮された技能・技術の上達度(40%)などを総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件(履修条件)	特になし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	特に広い意味での生涯学習の領域で役立つように目標は設定されている。自分の意思でこれらのスポーツを実施できる態度を身につけてほしい。		
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002033 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・卓球) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E5～7	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「ソフトボール」と「卓球」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、などの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) 打球を返すことができる。ラリーができる。(卓球) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第 1 回 10/4 オリエンテーション (授業の進め方) 第 2 回 10/18 ソフトボールの基礎的技術の習得 (投げる、捕る、打つ) 第 3 回 10/25 ソフトボールのゲーム 第 4 回 11/1 ソフトボールのゲーム 第 5 回 11/8 ソフトボールのゲーム 第 6 回 11/15 ソフトボールのゲーム 第 7 回 11/22 ソフトボールのゲーム 第 8 回 11/29 ソフトボールのゲーム 第 9 回 12/6 卓球の基礎的技術の習得 (打つ、ラリー) 第 10 回 12/13 卓球のゲーム 第 11 回 12/20 卓球のゲーム 第 12 回 1/17 卓球のゲーム 第 13 回 1/24 卓球のゲーム 第 14 回 1/31 卓球のゲーム 第 15 回 2/7 卓球のゲーム 第 16 回 2/14 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 (授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方 (集団での行動や話し合いへの積極的な参加) を評価する。欠席が 3 回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002032 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(フライングディスク) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E5~7	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中垣内 真樹 / gaichi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部棟 4F 中垣内研究室 / 095-819-2089 / 月、火曜日 12:00~12:50、16:00~17:00			
担当教員	中垣内 真樹		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法):ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。 到達目標:フライングディスクを正確に投げる事ができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。 第1回 10月4日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい) 第2回 10月18日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー 第3回 10月25日 基本スローの習得 バックハンドスロー 第4回 11月1日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム:アキュラシー 第5回 11月8日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム:ドッチビー 第6回 11月15日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム:ポートボールのルールでのゲーム 第7回 11月22日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第8回 11月29日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第9回 12月6日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第10回 12月13日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第11回 12月20日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第12回 1月17日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第13回 1月24日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第14回 1月31日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ 第15回 2月7日 技術テスト 自身の技術の向上を確認			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書:フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能テスト 30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況の評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002031 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) E5~7	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 日高 正博 / mhidaka@nagasaki-u.ac.jp / 教育本館 5 1 2室 /095-819- 2326 / 随時 (事前に連絡して下さい)			
担当教員	日高 正博		
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化, ルール, 技術を習得し, 生涯に亘って運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 本演習では, バドミントンを取り上げ, 手軽に運動に親しみ生涯に亘って実践できるようになることをねらいとする。そのために, シャトル操作やフットワークなどの技術をはじめ, ネット型スポーツの戦術及びルールの理解と習得を通して, ゲームを楽しめるようにする。また, 技能差のある相手ともゲームを楽しむためのハンディキャップ制のあり方についても検討していく。 到達目標: 適切なシャトル操作によりラリーを続けることができる。ルールを理解し, 技能差のある相手とも工夫してゲームを楽しむことができる。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) <ul style="list-style-type: none"> ・バドミントンの基礎技術を習得し, ルールや戦術を理解してゲームで実践する。 ・スキルテスト実施の後, 適切なハンディキャップ制のあり方について検討する。 ・ハンディキャップ制を取り入れたゲームを実施し, 技能差を克服して誰とでも楽しめる工夫を行う。 第 1回 10月4日 オリエンテーション (コース決定, ねらい等の説明) 第 2回 10月18日 グルーピング, 授業の進め方, バドミントンの基本技術, ルールについて 第 3回 10月25日 バドミントンの基本技術, フットワークについて 第 4回 11月1日 スキルテスト, ゲーム1 (ハンディキャップなしでのシングルス①) 第 5回 11月8日 ゲーム2 (ハンディキャップなしでのシングルス②) 第 6回 11月15日 ゲーム3 (ハンディキャップなしでのシングルス③) 第 7回 11月22日 ハンディキャップ制についての検討 (ハンディキャップ制とは? 適切なハンディキャップの程度は?) 第 8回 11月29日 ゲーム4 (ハンディキャップ制でのシングルス①) 第 9回 12月6日 ゲーム5 (ハンディキャップ制でのシングルス②) 第 10回 12月13日 ゲーム6 (ハンディキャップ制でのシングルス③) 第 11回 12月20日 ゲーム7 (ダブルス①) 第 12回 1月17日 ゲーム8 (ダブルス②) 第 13回 1月24日 グループ対抗戦1 第 14回 1月31日 グループ対抗戦2 第 15回 2月7日 スキルテスト, 総括			
キーワード	生涯スポーツ, ハンディキャップ制		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能の上達の程度 30% 授業への貢献度 20% ただし, 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件(履修条件)	動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。必ず屋内用の体育館シューズを着用のこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002036 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・卓球) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) La~d	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「ソフトボール」と「卓球」の二つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、打つ、投げる、などの基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) 打球を返すことができる。ラリーができる。(卓球) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第 1 回 10/5 オリエンテーション (授業の進め方) 第 2 回 10/12 ソフトボールの基礎的技術の習得 (投げる、捕る、打つ) 第 3 回 10/19 ソフトボールのゲーム 第 4 回 10/26 ソフトボールのゲーム 第 5 回 11/2 ソフトボールのゲーム 第 6 回 11/9 ソフトボールのゲーム 第 7 回 11/16 ソフトボールのゲーム 第 8 回 11/30 ソフトボールのゲーム 第 9 回 12/7 卓球の基礎的技術の習得 (打つ、ラリー) 第 10 回 12/14 卓球のゲーム 第 11 回 12/21 卓球のゲーム 第 12 回 1/11 卓球のゲーム 第 13 回 1/18 卓球のゲーム 第 14 回 1/25 卓球のゲーム 第 15 回 2/1 卓球のゲーム 第 16 回 2/8 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 (授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方 (集団での行動や話し合いへの積極的な参加) を評価する。欠席が 3 回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ / 学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002035 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (バレーボール・バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) La~d	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 熊野 晃三 / kumano@n-junshin.ac.jp / 総合体育館2階(体育教官室) / 095-846-0084 / 火曜日 12:20~12:50			
担当教員	熊野 晃三		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法、またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。 到達目標: 獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本技術を習得する。戦術を意識したゲームが実践できるようにする。 リーグ戦の対戦表が作成できるようにする。 第1回 10月5日 オリエンテーション (コース別演習のコース決定など) 第2回 10月12日 演習1 (レクリエーション) レクリエーションワークの解説と実習 第3回 10月19日 演習2 (バレーボール) 技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス 第4回 10月26日 演習3 " アンダーハンドパス、スパイク 第5回 11月2日 演習4 " スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム① 第6回 11月9日 演習5 " 異質グループによるゲーム② 第7回 11月16日 演習6 " 異質グループによるゲーム③ 第8回 11月30日 演習7 " ソフトバレーボール 第9回 12月7日 演習8 (バドミントン) 解説と基本ストローク 第10回 12月14日 演習9 " シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦 第11回 12月21日 演習10 " 等質グループによるリーグ戦① 第12回 1月11日 演習11 " 等質グループによるリーグ戦② 第13回 1月18日 演習12 " 等質グループによるリーグ戦③ 第14回 1月25日 演習13 " ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦① 第15回 2月1日 演習14 " 等質グループによるリーグ戦② 第16回 2月8日 定期試験			
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化		
教科書・教材・参考書	教材 : 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する		
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度: 20% 実技試験: 40% 筆記試験: 40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件(履修条件)	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002034 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(フライングディスク) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) La~d	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中垣内 真樹 / gaichi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部棟 4F 中垣内研究室 / 095-819-2089 / 月、火曜日 12:00~12:50、16:00~17:00			
担当教員	中垣内 真樹		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法):ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。 到達目標:フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。 第1回 10月5日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい) 第2回 10月12日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー 第3回 10月19日 基本スローの習得 バックハンドスロー 第4回 10月26日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム:アキュラシー 第5回 11月2日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム:ドッチビー 第6回 11月9日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム:ポートボールのルールでのゲーム 第7回 11月16日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第8回 11月30日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第9回 12月7日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第10回 12月14日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第11回 12月21日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第12回 1月11日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第13回 1月18日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第14回 1月25日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ 第15回 2月1日 技術テスト 自身の技術の向上を確認			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書:フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能テスト 30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況の評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1																																																																
授業コード 20100562002039	●スポーツ演習 (バレーボール・バドミントン)																																																																		
授業科目/(英語名)	Sport and Exercise																																																																		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室																																																																	
対象学生(クラス等) Le・f、P18・19	科目分類 健・スポ科学科目																																																																		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 熊野 晃三 / kumano@n-junshin.ac.jp / 総合体育館2階(体育教官室) / 095-846-0084 / 火曜日 12:20~12:50																																																																			
担当教員	熊野 晃三																																																																		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法、またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。 到達目標: 獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。																																																																			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本技術を習得する。戦術を意識したゲームが実践できるようにする。 リーグ戦の対戦表が作成できるようにする。 <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>10月5日</td> <td>オリエンテーション</td> <td>(コース別演習のコース決定など)</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>10月12日</td> <td>演習1</td> <td>(レクリエーション)レクリエーションワークの解説と実習</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>10月19日</td> <td>演習2</td> <td>(バレーボール)技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>10月26日</td> <td>演習3</td> <td>アンダーハンドパス、スパイク</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>11月2日</td> <td>演習4</td> <td>スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>11月9日</td> <td>演習5</td> <td>異質グループによるゲーム②</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>11月16日</td> <td>演習6</td> <td>異質グループによるゲーム③</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>11月30日</td> <td>演習7</td> <td>ソフトバレーボール</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>12月7日</td> <td>演習8</td> <td>(バドミントン) 解説と基本ストローク</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>12月14日</td> <td>演習9</td> <td>シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦</td> </tr> <tr> <td>第11回</td> <td>12月21日</td> <td>演習10</td> <td>等質グループによるリーグ戦①</td> </tr> <tr> <td>第12回</td> <td>1月11日</td> <td>演習11</td> <td>等質グループによるリーグ戦②</td> </tr> <tr> <td>第13回</td> <td>1月18日</td> <td>演習12</td> <td>等質グループによるリーグ戦③</td> </tr> <tr> <td>第14回</td> <td>1月25日</td> <td>演習13</td> <td>ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①</td> </tr> <tr> <td>第15回</td> <td>2月1日</td> <td>演習14</td> <td>等質グループによるリーグ戦②</td> </tr> <tr> <td>第16回</td> <td>2月8日</td> <td>定期試験</td> <td></td> </tr> </table>				第1回	10月5日	オリエンテーション	(コース別演習のコース決定など)	第2回	10月12日	演習1	(レクリエーション)レクリエーションワークの解説と実習	第3回	10月19日	演習2	(バレーボール)技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス	第4回	10月26日	演習3	アンダーハンドパス、スパイク	第5回	11月2日	演習4	スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①	第6回	11月9日	演習5	異質グループによるゲーム②	第7回	11月16日	演習6	異質グループによるゲーム③	第8回	11月30日	演習7	ソフトバレーボール	第9回	12月7日	演習8	(バドミントン) 解説と基本ストローク	第10回	12月14日	演習9	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦	第11回	12月21日	演習10	等質グループによるリーグ戦①	第12回	1月11日	演習11	等質グループによるリーグ戦②	第13回	1月18日	演習12	等質グループによるリーグ戦③	第14回	1月25日	演習13	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①	第15回	2月1日	演習14	等質グループによるリーグ戦②	第16回	2月8日	定期試験	
第1回	10月5日	オリエンテーション	(コース別演習のコース決定など)																																																																
第2回	10月12日	演習1	(レクリエーション)レクリエーションワークの解説と実習																																																																
第3回	10月19日	演習2	(バレーボール)技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス																																																																
第4回	10月26日	演習3	アンダーハンドパス、スパイク																																																																
第5回	11月2日	演習4	スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①																																																																
第6回	11月9日	演習5	異質グループによるゲーム②																																																																
第7回	11月16日	演習6	異質グループによるゲーム③																																																																
第8回	11月30日	演習7	ソフトバレーボール																																																																
第9回	12月7日	演習8	(バドミントン) 解説と基本ストローク																																																																
第10回	12月14日	演習9	シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦																																																																
第11回	12月21日	演習10	等質グループによるリーグ戦①																																																																
第12回	1月11日	演習11	等質グループによるリーグ戦②																																																																
第13回	1月18日	演習12	等質グループによるリーグ戦③																																																																
第14回	1月25日	演習13	ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①																																																																
第15回	2月1日	演習14	等質グループによるリーグ戦②																																																																
第16回	2月8日	定期試験																																																																	
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化																																																																		
教科書・教材・参考書	教材 : 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する																																																																		
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度: 20% 実技試験: 40% 筆記試験: 40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。																																																																		
受講要件(履修条件)	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。																																																																		
本科目の位置づけ/学習・教育目標																																																																			
備考(準備学習等)																																																																			

2010年度 後期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002038 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(フライングディスク) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) Le・f、P18・19	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 中垣内 真樹 / gaichi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部棟 4F 中垣内研究室 / 095-819-2089 / 月、火曜日 12:00~12:50、16:00~17:00			
担当教員	中垣内 真樹		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法):ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。 到達目標:フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し(説明でき)、チーム(個々の技能)の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。 第1回 10月5日 オリエンテーション(授業のすすめ方 ねらい) 第2回 10月12日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー 第3回 10月19日 基本スローの習得 バックハンドスロー 第4回 10月26日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム:アキュラシー 第5回 11月2日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム:ドッチビー 第6回 11月9日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム:ポートボールのルールでのゲーム 第7回 11月16日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第8回 11月30日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得 第9回 12月7日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第10回 12月14日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える 第11回 12月21日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第12回 1月11日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第13回 1月18日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 第14回 1月25日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ 第15回 2月1日 技術テスト 自身の技術の向上を確認			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書:フライングディスクのすすめ (編)日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 技能テスト 30% 集団技能(ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況の評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002037 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (サッカー) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) Le~f・P18~19	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 畑 孝幸 / / 教育学部110研究室 / 095-819-2358 / 随時 (予約による)			
担当教員	畑 孝幸		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。このクラスではサッカーを通して身体運動に関する自立的な能力を開発することを目的とする。 授業方法(学習指導法): このクラスでは、サッカーの知識・理論を学習し、技術・戦術を実践的に習得するが、そのための思考力と方法的能力を養成する。授業は男女共習のグループ学習の形態で行い、グループごとに学習内容を「計画」し「実践」する。その後「ふりかえり」を行い、グループ内での課題の発見とその解決について検討する。 到達目標: 自己の課題を発見し練習計画表を作成することができる。サッカーのルールや戦術を理解し、チームや個々の技能の特性を活かして上手にゲームができる戦術を考えることができる。チームメイトと討論し、自らの課題を発見し、計画表を作成し、ゲームを実践することができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 毎時間グループごとに学習内容を計画しながら実践する。計画した内容をゲーム等で実践することによって、サッカーの基礎的技術を習得し、ルールや戦術の理解を深める。受講者にはグループや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる。授業ごとに毎回作成される計画表は、授業後に提出し、評価を受けたあと、次回の立案者に渡される。定期試験は16回目(2月8日)に行う予定である。 第1回 10月5日:オリエンテーション、軽度の運動 第2回 10月12日:グループ핑、授業展開方法の説明 第3回 10月19日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第4回 10月26日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第5回 11月2日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第6回 11月9日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第7回 11月16日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第8回 11月30日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第9回 12月7日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第10回 12月14日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第11回 12月21日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第12回 1月11日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第13回 1月18日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第14回 1月25日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第15回 2月1日:グループ学習(準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり) 第16回 2月8日:定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度10%、計画表25%、個人技能10%、集団技能(練習やゲームの内容をチーム毎に評価する)25%、筆記試験30%の割合で総合的に評価し、60%以上の評点を合格とする。		
受講要件(履修条件)	基本的に全回出席しなければ単位は成立しない。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002042 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) D16~17・F27~28	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 吉田 大輔 / m087007@sky.nifs-k.ac.jp / 総合体育館 2F (体育教官室) / 毎週水曜日 12:00~13:00			
担当教員	吉田 大輔		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): この授業では、ソフトボールとバドミントンの実践を通じて基礎体力を養い、各種目の基本技術・戦術を身につける。主にゲーム形式で授業を展開し、チームプレーとしての技術・戦術も習得する。 到達目標: 体力づくりの重要性を理解し、自主的かつ積極的な態度でスポーツに取り組むことができる。 スポーツ・パフォーマンスの向上やスポーツ外傷・障害の予防に必要な基礎知識・具体的方法について説明できる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボールとバドミントンを実施する。 第1回 10月6日 オリエンテーション 第2回 10月13日 ソフトボール ソフトボールの基本ルール・技術を学ぶ(キャッチボールから打球の処理まで) 第3回 10月20日 ソフトボール バッティングと関係守備① 第4回 10月27日 ソフトボール バッティングと関係守備② 第5回 11月10日 ソフトボール ゲーム① 第6回 11月17日 ソフトボール ゲーム② 第7回 11月24日 ソフトボール ゲーム③ 第8回 12月1日 ソフトボール まとめ(実技試験含む) 第9回 12月8日 バドミントン バドミントンの基本ルール・技術を学ぶ(オーバーヘッド、フォアハンド、バックハンドでのストローク) 第10回 12月15日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する①(クリア、ドライブ) 第11回 12月22日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する②(スマッシュ、ドロップ、カット) 第12回 1月12日 バドミントン サービスの基本技術を習得する 第13回 1月19日 バドミントン ゲーム(ダブルス)① 第14回 1月26日 バドミントン ゲーム(ダブルス)② 第15回 2月2日 バドミントン まとめ(実技試験含む)			
天候などの理由により、予定を変更することがある。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 個人技能テスト 30% 集団技能テスト 20% (ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002041 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ウォーキング&ジョギング) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) D16-17, F27-28	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 田井村 明博 / taimura@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 2F-169 / 095-819-2761 / 授業期間中は月一木曜日までの 昼休み(12時05分~12時45分)(なお、在室時はいつでも可)。			
担当教員	田井村 明博		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化, ルール, 技術を習得し, 生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法):ウォーキング, ジョギングの特性について運動生理学, バイオメカニクスなどの側面から基礎理論についての講義および実技を行う。 到達目標:ウォーキング, ジョギングの運動特性について説明できる。自分自身の健康状態, 体力レベルを評価できる。また, 健康, 体力の維持・向上及び生涯スポーツを目的とした個人の体力レベルに応じた運動プログラム(運動処方)を作成出来るようになる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 身体運動に関連する基礎理論の講義と演習(実技実習, 測定及びデータ処理と評価)を行い, まとめとそれらの内容に関する演習課題を課す。 * 天候, 施設の状況によって, 講義と実技実習の予定が変更になることがあるので, 毎回, 必ず掲示板(全学教育事務室及び総合体育館)を確認すること。 第1回 10月6日 オリエンテーション(科目の概要説明, クラス分け, クラス概要など) 第2回 10月13日 講義・演習:運動量測定のための基礎理論と測定, 記録方法に関する演習 第3回 10月20日 演習:ウォーキング, ジョギング(ペース走, 時間走), 卓球, バドミントンなどの実技実習及びそれぞれの運動中のエネルギー消費量の測定を行う。 第4回 10月27日 演習:ウォーキング, ジョギング(ペース走, 時間走), 卓球, バドミントンなどの実技実習及びそれぞれの運動中のエネルギー消費量の測定を行う。 第5回 11月10日 演習:ウォーキング, ジョギング(ペース走, 時間走), 卓球, バドミントンなどの実技実習及びそれぞれの運動中のエネルギー消費量の測定を行う。 第6回 11月17日 演習:ウォーキング, ジョギング(ペース走, 時間走), 卓球, バドミントンなどの実技実習及びそれぞれの運動中のエネルギー消費量の測定を行う。 第7回 11月24日 演習:ウォーキング, ジョギング(ペース走, 時間走), 卓球, バドミントンなどの実技実習及びそれぞれの運動中のエネルギー消費量の測定を行う。 第8回 12月1日 演習:ウォーキング, ジョギング(ペース走, 時間走), 卓球, バドミントンなどの実技実習及びそれぞれの運動中のエネルギー消費量の測定を行う。 第9回 12月8日 演習:ウォーキング, ジョギング(ペース走, 時間走), 卓球, バドミントンなどの実技実習及びそれぞれの運動中のエネルギー消費量の測定を行う。 第10回 12月15日 演習:ウォーキング, ジョギング(ペース走, 時間走), 卓球, バドミントンなどの実技実習及びそれぞれの運動中のエネルギー消費量の測定を行う。 第11回 12月22日 演習:測定結果の分析 第12回 1月12日 講義・演習:運動とエネルギー代謝, 呼吸・循環機能 第13回 1月19日 講義・演習:運動処方 第14回 1月26日 講義・演習:運動と筋機能(筋収縮, 筋出力の様式, 筋肉の種類と構造) 第15回 2月2日 講義・演習:まとめ			
キーワード	健康, スポーツ, ウォーキング, ジョギング, エネルギー消費		
教科書・教材・参考書	テキストは使用しないが, 必要に応じてウォーキング, ジョギング, 運動強度, 運動量, エネルギー代謝, 運動処方などに関する資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	全授業への出席を原則とし, 実技演習に対する積極的な参加状況(50%)及び演習課題(50%)により総合的に評価する。ただし, 欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。		
受講要件(履修条件)	実技実習を行うので, 特に前日からの体調管理と運動服, 運動靴等の準備が必須となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	関連科目:健康・スポーツ科学(健康科学)		
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002040 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (トータルフィットネス) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) D16~17・F27~28	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 管原 正志 / sugahara@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部 108 研究室 / 095-819-2355 / 12:00-12:50			
担当教員	管原 正志		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): トータルスポーツは、陸上運動、ニュースポーツ、ボール運動、ラケットスポーツ等の異なるタイプの運動を通して自己の健康づくりの実施方法を習得する。具体的には健康と身体運動の関係を理解した上で、健康運動の実践方法(有酸素運動・筋力トレーニング・ストレッチなど)について実習し、効果的な運動の実践方法を習得する。 到達目標: 身体運動が生活習慣病予防をはじめとして健康の保持増進に役立つことを理解するだけでなく、運動の実践を通じて自己管理能力を身につける。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容(概要): 授業では、スポーツ演習、健康の概念、有酸素運動の理論、運動処方、熱中症の予防、運動量の計測演習について行う。 第1回 10月6日:オリエンテーション(種目決定など) 第2回 10月13日:演習「カロリーカウンターの使用説明、バドミントン」 第3回 10月20日:演習「バドミントン」 第4回 10月27日:演習「バドミントン」 第5回 11月10日:演習「バドミントン」 第6回 11月17日:演習「硬式テニス」 第7回 11月24日:演習「硬式テニス」 第8回 12月1日:演習「グランドゴルフ」 第9回 12月8日:演習「バードゴルフ」 第10回 12月15日:演習「卓球」 第11回 12月22日:演習「卓球」 第12回 1月12日:演習「卓球」 第13回 1月19日:演習「学内または学外のウォーキング・ジョギングコースを設定使用」 第14回 1月26日:講義「有酸素運動の理解、運動処方」 第15回 2月2日:講義「スポーツ活動時の熱中症予防」、「総合評価」			
キーワード			
教科書・教材・参考書	必要に応じて、関係する資料を配付する。また、器具等は時間毎に貸与する。		
成績評価の方法・基準等	授業レポートによる理解度(20%)、授業への参加状況(40%)、課題レポート(40%)を総合的に評価する。但し、全期間の欠席が3回以上の場合には失格となる。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002045 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M11~12・Ta~b	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 吉田 大輔 / m087007@sky.nifs-k.ac.jp / 総合体育館 2F (体育教官室) / 毎週水曜日 12:00~13:00			
担当教員	吉田 大輔		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): この授業では、ソフトボールとバドミントンの実践を通じて基礎体力を養い、各種目の基本技術・戦術を身につける。主にゲーム形式で授業を展開し、チームプレーとしての技術・戦術も習得する。 到達目標: 体力づくりの重要性を理解し、自主的かつ積極的な態度でスポーツに取り組むことができる。 スポーツ・パフォーマンスの向上やスポーツ外傷・障害の予防に必要な基礎知識・具体的方法について説明できる。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボールとバドミントンを実施する。			
第1回 10月6日 オリエンテーション 第2回 10月13日 ソフトボール ソフトボールの基本ルール・技術を学ぶ(キャッチボールから打球の処理まで) 第3回 10月20日 ソフトボール バッティングと関係守備① 第4回 10月27日 ソフトボール バッティングと関係守備② 第5回 11月10日 ソフトボール ゲーム① 第6回 11月17日 ソフトボール ゲーム② 第7回 11月24日 ソフトボール ゲーム③ 第8回 12月1日 ソフトボール まとめ(実技試験含む) 第9回 12月8日 バドミントン バドミントンの基本ルール・技術を学ぶ(オーバーヘッド、フォアハンド、バックハンドでのストローク) 第10回 12月15日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する①(クリア、ドライブ) 第11回 12月22日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する②(スマッシュ、ドロップ、カット) 第12回 1月12日 バドミントン サービスの基本技術を習得する 第13回 1月19日 バドミントン ゲーム(ダブルス)① 第14回 1月26日 バドミントン ゲーム(ダブルス)② 第15回 2月2日 バドミントン まとめ(実技試験含む)			
天候などの理由により、予定を変更することがある。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 個人技能テスト 30% 集団技能テスト 20% (ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002044	●スポーツ演習 (バドミントン・卓球他) Sport and Exercise		
授業科目/(英語名)	講義形態 演習科目	教室	
対象年次 1年	対象学生(クラス等) M11-12・Ta-b		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 山内 正毅 / yamauchi@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部本館1階 109 / 095-819-2356 / 木曜2校時		科目分類 健・スポ科学科目	
担当教員	山内 正毅		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): さまざまなスポーツ、ジョギングやダンスによる有酸素運動、リラクゼーションにかかわる運動を教材として運動・スポーツ及びからだや健康に関する教養教育を行う。 到達目標: 教材として取り上げた運動・スポーツの技能や自立的な実践方法を獲得する。・運動・スポーツと健康との関わりを理解し、運動量と主観的運動強度、心拍数(HR)、エネルギー消費量等の関係を自覚する。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 現代社会における心身のコンディショニングの重要性やメカニズムを理解し、それらに対する運動、スポーツの関わり方、実践方法などをバドミントン、卓球、ジョギング等の教材を用いて演習する。			
第1回 10/6 オリエンテーション 第2回 10/13 心身のコンディショニングに関する概観(演習形式で実技と講義) 生活と運動・スポーツ、心身の機序と運動、基本的運動実践の方法 第3回 10/20 体づくりの方法とリラクゼーション1(演習)(屋内) 第4回 10/27 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第5回 11/10 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第6回 11/17 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第7回 11/24 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第8回 12/1 バドミントン(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ 第9回 12/8 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第10回 12/15 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第11回 12/22 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第12回 1/12 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第13回 1/19 卓球(演習、実技)(屋内) (カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用) 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ 第14回 1/26 運動強度と生理的反応の測定 運動負荷を変化させ(速歩、ジョギング、軽ランニング)その時のHR、消費カロリー、主観的運動強度等を測定し、自己の運動とからだの関係を知る。 第15回 2/2 授業のまとめ(総括試合)、レポート(講義) 測定した自分のデータをもとに、各自の身体能力を知るとともに運動強度とからだの関係について考える。 以上のスポーツ種目、実施の順序、場所は、天候や施設の都合で変更することもある。			
キーワード	バドミントン、卓球、主観的運動強度、QOL		
教科書・教材・参考書	必要な資料はプリントして配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と取り組みの意欲(50%)、技術の上達(10%)、理解度(最後にレポートの提出、40%)など総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が2回を越える場合には原則として失格となる。		
受講要件(履修条件)	服装等、ルールに従い、クラスの成員と協力しあうこと。体調を自己管理し、欠席なくしていいようにすることも本授業の内容にかかわってくるのでこの点も注意すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	全学教育学生便覧参照		
備考(準備学習等)	運動用服装、体育館シューズの使用を厳守すること。ジーパン等の普段着の服装は認めないので必ず着替えること。		

2010年度 後期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002043 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (バスケットボール・卓球) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M11・12, Ta・b	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小原 達朗 / labo@nagasaki-u.ac.jp / 教育学部 252 室 / 095-819-2294 / 水曜日 17:00~17:45			
担当教員	小原 達朗		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、技術を習得し、生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 本授業では、スポーツの実践とスポーツを行う身体についてレクチャーおよび演習をととして理解することをねらいとしている。したがって、授業の前段の演習と後段のスポーツ実践によって進められる。 到達目標: 演習で取り上げた課題を理解し、実践できること及びバスケットと卓球のスポーツ実践が受講者間で支障なくできること。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 10月6日 オリエンテーション (授業の進め方、ねらい等) 第2回 10月13日 ストレッチ + バスケット (プレマッチ) 第3回 10月20日 ボディエクササイズ + バスケット (リーグ1) 第4回 10月27日 ウェイトコントロール+ バスケット (リーグ2) 第5回 11月10日 ダイエットと運動 + バスケット (リーグ3) 第6回 11月17日 エアロビクス + バスケット (リーグ4) 第7回 11月24日 バスケット (リーグ5) 第8回 12月1日 ウェイトトレーニング+ 卓球 (プレマッチ) 第9回 12月8日 リラクゼーション + 卓球 (リーグ1) 第10回 12月15日 ウォーキング + 卓球 (リーグ2) 第11回 12月22日 ジョギング + 卓球 (リーグ3) 第12回 1月12日 ストレスと運動 + 卓球 (リーグ4) 第13回 1月19日 健康と体力 + 卓球 (リーグ5) 第14回 1月26日 卓球 (ダブルス) 第15回 2月2日 卓球 (ダブルス)			
キーワード	体力増進、健康維持、知識理解、実践方法		
教科書・教材・参考書	教科書は不要、必要に応じて資料配布		
成績評価の方法・基準等	1. 授業に対する積極的な参加度 (配点 60%) 2. スポーツ及び演習の実践が到達目標に達していること (配点 20%) 3. 平常記録の評価 (20%)		
受講要件(履修条件)	特になし		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	健全な社会人の育成 健全な社会人の育成		
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002048 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ニュースポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M13・K25～26	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊 勝平 / chosho-wata@hotmail.co.jp / 総合体育館体育教官室 / 木曜日 12:00～12:50			
担当教員	渡邊 勝平		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。 到達目標: スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) これまでの学校教育ではほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。			
第1回 10月7日 オリエンテーション…授業概要説明 第2回 10月14日 アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム 第3回 10月21日 アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム 第4回 10月28日 アルティメット…ゲーム 第5回 11月4日 アルティメット…ゲーム 第6回 11月11日 グラウンドゴルフ…ゲーム 第7回 11月18日 フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム 第8回 11月25日 ラージボール卓球…ゲーム 第9回 12月2日 インディアカ…チーム分け、ゲーム 第10回 12月9日 インディアカ…ゲーム 第11回 12月16日 インディアカ…ゲーム 第12回 1月13日 ソフトバレー…ゲーム 第13回 1月20日 ソフトバレー…ゲーム 第14回 1月27日 ミニテニス…ゲーム 第15回 2月3日 ニュースポーツの考案 第16回 2月10日 定期試験			
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ		
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 (80%) 筆記試験 (20%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002047 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (球技スポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M13・K25～26	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤木 賢二 / ken.fujiki@nifty.com / 総合体育館 2F (体育教官室) / 木曜日 12:00～12:45、16:00～16:30			
担当教員	藤木 賢二		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルールを理解し、技術を習得することで、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。 到達目標: ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。			
第1回 10月7日 オリエンテーション (種目の決定、授業の概要説明など) 第2回 10月14日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習 第3回 10月21日 ソフトボール ゲーム 第4回 10月28日 ソフトボール ゲーム 第5回 11月4日 ソフトボール ゲーム 第6回 11月11日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク (フォアハンド、バックハンド) 第7回 11月18日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ 第8回 11月25日 テニス ゲーム (ダブルス) 第9回 12月2日 テニス ゲーム (ダブルス、シングルス) 第10回 12月9日 テニス ゲーム (シングルス) 第11回 12月16日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム 第12回 1月6日 サッカー ゲーム 第13回 1月13日 サッカー ゲーム 第14回 1月20日 サッカー ゲーム 第15回 1月27日 サッカー ゲーム 第16回 2月10日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40% チームへの貢献 10% 技術上達 10% 試験 (運動効果の理解 30%、ルール等の理解 10%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002046 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ソフトボール・バドミントン) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M1 3・K2 5～26	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 吉田 大輔 / m087007@sky.nifs-k.ac.jp / 総合体育館 2F (体育教官室) / 毎週水曜日 12:00～13:00			
担当教員	吉田 大輔		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): この授業では、ソフトボールとバドミントンの実践を通じて基礎体力を養い、各種目の基本技術・戦術を身につける。主にゲーム形式で授業を展開し、チームプレーとしての技術・戦術も習得する。 到達目標: 体力づくりの重要性を理解し、自主的かつ積極的な態度でスポーツに取り組むことができる。 スポーツ・パフォーマンスの向上やスポーツ外傷・障害の予防に必要な基礎知識・具体的方法について説明できる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボールとバドミントンを実施する。			
第1回 10月7日 オリエンテーション 第2回 10月14日 ソフトボール ソフトボールの基本ルール・技術を学ぶ(キャッチボールから打球の処理まで) 第3回 10月21日 ソフトボール バッティングと関係守備① 第4回 10月28日 ソフトボール バッティングと関係守備② 第5回 11月4日 ソフトボール ゲーム① 第6回 11月11日 ソフトボール ゲーム② 第7回 11月18日 ソフトボール ゲーム③ 第8回 11月25日 ソフトボール まとめ(実技試験含む) 第9回 12月2日 バドミントン バドミントンの基本ルール・技術を学ぶ(オーバーヘッド、フォアハンド、バックハンドでのストローク) 第10回 12月9日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する①(クリア、ドライブ) 第11回 12月16日 バドミントン 各種ショットの基本技術を習得する②(スマッシュ、ドロップ、カット) 第12回 1月6日 バドミントン サービスの基本技術を習得する 第13回 1月13日 バドミントン ゲーム(ダブルス)① 第14回 1月20日 バドミントン ゲーム(ダブルス)② 第15回 1月27日 バドミントン まとめ(実技試験含む)			
天候などの理由により、予定を変更することがある。			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 50% 個人技能テスト 30% 集団技能テスト 20% (ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する) 欠席が3回以上の者は失格とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1																																																
授業コード 20100562002051 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ニュースポーツ) Sport and Exercise																																																		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室																																																	
対象学生(クラス等) M14・Te～f	科目分類 健・スポ科学科目																																																		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊 勝平 / chosho-wata@hotmail.co.jp / 総合体育館体育教官室 / 木曜日 12:00～12:50																																																			
担当教員	渡邊 勝平																																																		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。 到達目標: スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。																																																			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) これまでの学校教育ではほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。																																																			
<table border="0"> <tr><td>第1回</td><td>10月7日</td><td>オリエンテーション…授業概要説明</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>10月14日</td><td>アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>10月21日</td><td>アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム</td></tr> <tr><td>第4回</td><td>10月28日</td><td>アルティメット…ゲーム</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>11月4日</td><td>アルティメット…ゲーム</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>11月11日</td><td>グラウンドゴルフ…ゲーム</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>11月18日</td><td>フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム</td></tr> <tr><td>第8回</td><td>11月25日</td><td>ラージボール卓球…ゲーム</td></tr> <tr><td>第9回</td><td>12月2日</td><td>インディアカ…チーム分け、ゲーム</td></tr> <tr><td>第10回</td><td>12月9日</td><td>インディアカ…ゲーム</td></tr> <tr><td>第11回</td><td>12月16日</td><td>インディアカ…ゲーム</td></tr> <tr><td>第12回</td><td>1月13日</td><td>ソフトバレー…ゲーム</td></tr> <tr><td>第13回</td><td>1月20日</td><td>ソフトバレー…ゲーム</td></tr> <tr><td>第14回</td><td>1月27日</td><td>ミニテニス…ゲーム</td></tr> <tr><td>第15回</td><td>2月3日</td><td>ニュースポーツの考案</td></tr> <tr><td>第16回</td><td>2月10日</td><td>定期試験</td></tr> </table>				第1回	10月7日	オリエンテーション…授業概要説明	第2回	10月14日	アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム	第3回	10月21日	アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム	第4回	10月28日	アルティメット…ゲーム	第5回	11月4日	アルティメット…ゲーム	第6回	11月11日	グラウンドゴルフ…ゲーム	第7回	11月18日	フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム	第8回	11月25日	ラージボール卓球…ゲーム	第9回	12月2日	インディアカ…チーム分け、ゲーム	第10回	12月9日	インディアカ…ゲーム	第11回	12月16日	インディアカ…ゲーム	第12回	1月13日	ソフトバレー…ゲーム	第13回	1月20日	ソフトバレー…ゲーム	第14回	1月27日	ミニテニス…ゲーム	第15回	2月3日	ニュースポーツの考案	第16回	2月10日	定期試験
第1回	10月7日	オリエンテーション…授業概要説明																																																	
第2回	10月14日	アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム																																																	
第3回	10月21日	アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム																																																	
第4回	10月28日	アルティメット…ゲーム																																																	
第5回	11月4日	アルティメット…ゲーム																																																	
第6回	11月11日	グラウンドゴルフ…ゲーム																																																	
第7回	11月18日	フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム																																																	
第8回	11月25日	ラージボール卓球…ゲーム																																																	
第9回	12月2日	インディアカ…チーム分け、ゲーム																																																	
第10回	12月9日	インディアカ…ゲーム																																																	
第11回	12月16日	インディアカ…ゲーム																																																	
第12回	1月13日	ソフトバレー…ゲーム																																																	
第13回	1月20日	ソフトバレー…ゲーム																																																	
第14回	1月27日	ミニテニス…ゲーム																																																	
第15回	2月3日	ニュースポーツの考案																																																	
第16回	2月10日	定期試験																																																	
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ																																																		
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。																																																		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 (80%) 筆記試験 (20%)																																																		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。																																																		
本科目の位置づけ/学習・教育目標																																																			
備考(準備学習等)																																																			

2010年度 後期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002050 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (球技スポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M14・Te~f	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤木 賢二 / ken.fujiki@nifty.com / 総合体育館 2F (体育教官室) / 木曜日 12:00~12:45、16:00~16:30			
担当教員	藤木 賢二		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルールを理解し、技術を習得することで、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。 到達目標: ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。			
第1回 10月7日 オリエンテーション (種目の決定、授業の概要説明など) 第2回 10月14日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習 第3回 10月21日 ソフトボール ゲーム 第4回 10月28日 ソフトボール ゲーム 第5回 11月4日 ソフトボール ゲーム 第6回 11月11日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク (フォアハンド、バックハンド) 第7回 11月18日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ 第8回 11月25日 テニス ゲーム (ダブルス) 第9回 12月2日 テニス ゲーム (ダブルス、シングルス) 第10回 12月9日 テニス ゲーム (シングルス) 第11回 12月16日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム 第12回 1月6日 サッカー ゲーム 第13回 1月13日 サッカー ゲーム 第14回 1月20日 サッカー ゲーム 第15回 1月27日 サッカー ゲーム 第16回 2月10日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40% チームへの貢献 10% 技術上達 10% 試験 (運動効果の理解 30%、ルール等の理解 10%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002049 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(球技) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M14・Tc～f	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「バスケットボール」と「バドミントン」と「ソフトボール」の三つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: パスを正確にできる。シュートを正確にできる。ドリブルすることができる。(バスケットボール) シャトルを相手に返せる。ラリーができる。(バドミントン) ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第 1 回 10/7 オリエンテーション(授業の進め方) 第 2 回 10/14 バスケットボールの基礎的技術の習得 第 3 回 10/21 バスケットボールのゲーム 第 4 回 10/28 バスケットボールのゲーム 第 5 回 11/4 バスケットボールのゲーム 第 6 回 11/11 バドミンントンの基礎的技術の習得 第 7 回 11/18 バドミンントンのゲーム 第 8 回 11/25 バドミンントンのゲーム 第 9 回 12/2 バドミンントンのゲーム 第 10 回 12/9 ソフトボールの基礎的技術の習得 第 11 回 12/16 ソフトボールのゲーム 第 12 回 1/6 ソフトボールのゲーム 第 13 回 1/13 ソフトボールのゲーム 第 14 回 1/20 ソフトボールのゲーム 第 15 回 1/27 ソフトボールのゲーム 第 16 回 2/10 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方(授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方(集団での行動や話し合いへの積極的な参加)を評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1																																																
授業コード 20100562002054 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (ニュースポーツ) Sport and Exercise																																																		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室																																																	
対象学生(クラス等) M15・Tg～j	科目分類 健・スポ科学科目																																																		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 渡邊 勝平 / chosho-wata@hotmail.co.jp / 総合体育館体育教官室 / 木曜日 12:00～12:50																																																			
担当教員	渡邊 勝平																																																		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。 到達目標: スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。																																																			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) これまでの学校教育ではほとんど経験のない様々なニュースポーツの実践を行う。																																																			
<table border="0"> <tr><td>第1回</td><td>10月7日</td><td>オリエンテーション…授業概要説明</td></tr> <tr><td>第2回</td><td>10月14日</td><td>アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム</td></tr> <tr><td>第3回</td><td>10月21日</td><td>アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム</td></tr> <tr><td>第4回</td><td>10月28日</td><td>アルティメット…ゲーム</td></tr> <tr><td>第5回</td><td>11月4日</td><td>アルティメット…ゲーム</td></tr> <tr><td>第6回</td><td>11月11日</td><td>グラウンドゴルフ…ゲーム</td></tr> <tr><td>第7回</td><td>11月18日</td><td>フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム</td></tr> <tr><td>第8回</td><td>11月25日</td><td>ラージボール卓球…ゲーム</td></tr> <tr><td>第9回</td><td>12月2日</td><td>インディアカ…チーム分け、ゲーム</td></tr> <tr><td>第10回</td><td>12月9日</td><td>インディアカ…ゲーム</td></tr> <tr><td>第11回</td><td>12月16日</td><td>インディアカ…ゲーム</td></tr> <tr><td>第12回</td><td>1月13日</td><td>ソフトバレー…ゲーム</td></tr> <tr><td>第13回</td><td>1月20日</td><td>ソフトバレー…ゲーム</td></tr> <tr><td>第14回</td><td>1月27日</td><td>ミニテニス…ゲーム</td></tr> <tr><td>第15回</td><td>2月3日</td><td>ニュースポーツの考案</td></tr> <tr><td>第16回</td><td>2月10日</td><td>定期試験</td></tr> </table>				第1回	10月7日	オリエンテーション…授業概要説明	第2回	10月14日	アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム	第3回	10月21日	アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム	第4回	10月28日	アルティメット…ゲーム	第5回	11月4日	アルティメット…ゲーム	第6回	11月11日	グラウンドゴルフ…ゲーム	第7回	11月18日	フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム	第8回	11月25日	ラージボール卓球…ゲーム	第9回	12月2日	インディアカ…チーム分け、ゲーム	第10回	12月9日	インディアカ…ゲーム	第11回	12月16日	インディアカ…ゲーム	第12回	1月13日	ソフトバレー…ゲーム	第13回	1月20日	ソフトバレー…ゲーム	第14回	1月27日	ミニテニス…ゲーム	第15回	2月3日	ニュースポーツの考案	第16回	2月10日	定期試験
第1回	10月7日	オリエンテーション…授業概要説明																																																	
第2回	10月14日	アルティメット…チーム分け、スローイング、キャッチング、ミニゲーム																																																	
第3回	10月21日	アルティメット…スローイング、キャッチング、ミニゲーム																																																	
第4回	10月28日	アルティメット…ゲーム																																																	
第5回	11月4日	アルティメット…ゲーム																																																	
第6回	11月11日	グラウンドゴルフ…ゲーム																																																	
第7回	11月18日	フットサル・キックベースボール・ドッジビー…ゲーム																																																	
第8回	11月25日	ラージボール卓球…ゲーム																																																	
第9回	12月2日	インディアカ…チーム分け、ゲーム																																																	
第10回	12月9日	インディアカ…ゲーム																																																	
第11回	12月16日	インディアカ…ゲーム																																																	
第12回	1月13日	ソフトバレー…ゲーム																																																	
第13回	1月20日	ソフトバレー…ゲーム																																																	
第14回	1月27日	ミニテニス…ゲーム																																																	
第15回	2月3日	ニュースポーツの考案																																																	
第16回	2月10日	定期試験																																																	
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ																																																		
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。																																																		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 (80%) 筆記試験 (20%)																																																		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。																																																		
本科目の位置づけ/学習・教育目標																																																			
備考(準備学習等)																																																			

2010年度 後期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002053 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習 (球技スポーツ) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M15・Tg～j	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 藤木 賢二 / ken.fujiki@nifty.com / 総合体育館 2F (体育教官室) / 木曜日 12:00～12:45、16:00～16:30			
担当教員	藤木 賢二		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルールを理解し、技術を習得することで、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。 到達目標: ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。			
第1回 10月7日 オリエンテーション (種目の決定、授業の概要説明など) 第2回 10月14日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習 第3回 10月21日 ソフトボール ゲーム 第4回 10月28日 ソフトボール ゲーム 第5回 11月4日 ソフトボール ゲーム 第6回 11月11日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク (フォアハンド、バックハンド) 第7回 11月18日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ 第8回 11月25日 テニス ゲーム (ダブルス) 第9回 12月2日 テニス ゲーム (ダブルス、シングルス) 第10回 12月9日 テニス ゲーム (シングルス) 第11回 12月16日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム 第12回 1月6日 サッカー ゲーム 第13回 1月13日 サッカー ゲーム 第14回 1月20日 サッカー ゲーム 第15回 1月27日 サッカー ゲーム 第16回 2月10日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40% チームへの貢献 10% 技術上達 10% 試験 (運動効果の理解 30%、ルール等の理解 10%)		
受講要件(履修条件)	全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100562002052 授業科目/(英語名)	●スポーツ演習(球 技) Sport and Exercise		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室	
対象学生(クラス等) M15・Tg～j	科目分類 健・スポ科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 坂本 圭司 / k-saka@nagasaki-u.ac.jp / 総合体育館 2F 体育教官室 / 授業前後の休み時間			
担当教員	坂本 圭司		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい: 身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識や技能を習得することをねらいとする。 授業方法(学習指導法): 「バスケットボール」と「バドミントン」と「ソフトボール」の三つの球技を題材として、それぞれの球技が持つ特性を理解し、基礎的な技術を身に付ける。また、ゲームを中心に行うことで、発展的な技術や戦術を身に付け楽しくゲームが行えるようにする。さらに自らが課題を見つけ、解決していくことで、生涯スポーツとして実践していける方法を身に付ける。 到達目標: パスを正確にできる。シュートを正確にできる。ドリブルすることができる。(バスケットボール) シャトルを相手に返せる。ラリーができる。(バドミントン) ボールを正確に投げることができる。打つことができる。(ソフトボール) ルールや戦術を理解し楽しくゲームができる。仲間と課題や戦術について積極的に話し合うことで課題を解決しチーム力を高めることができる。			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第 1 回 10/7 オリエンテーション (授業の進め方) 第 2 回 10/14 バスケットボールの基礎的技術の習得 第 3 回 10/21 バスケットボールのゲーム 第 4 回 10/28 バスケットボールのゲーム 第 5 回 11/4 バスケットボールのゲーム 第 6 回 11/11 バドミンントンの基礎的技術の習得 第 7 回 11/18 バドミンントンのゲーム 第 8 回 11/25 バドミンントンのゲーム 第 9 回 12/2 バドミンントンのゲーム 第 10 回 12/9 ソフトボールの基礎的技術の習得 第 11 回 12/16 ソフトボールのゲーム 第 12 回 1/6 ソフトボールのゲーム 第 13 回 1/13 ソフトボールのゲーム 第 14 回 1/20 ソフトボールのゲーム 第 15 回 1/27 ソフトボールのゲーム 第 16 回 2/10 技能テスト			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。		
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方(授業での意欲・態度) 20% 技能テスト 30% 授業への出席状況および取り組み方(集団での行動や話し合いへの積極的な参加)を評価する。 欠席が3回以上の者は失格とする。技能テストでは基礎的技術をテストする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			